

岩手県生協連 東日本大震災対応ニュース NO.4

2011年3月29日 岩手県生活協同組合連合会 発行

《問い合わせの多い義援金について再掲いたします》

岩手県生協連単独では集めておりませんが、日本生協連が窓口になる募金に協力をお願いしています。日本生協連では組合員を含め広く一般の方々が個人で送金できる口座を開設しています。

- 募金の名称:東北地方太平洋沖地震の被災者救済のための一般募金(略称:東北被災者救援一般募金)
- 募金の期間・送金口座:2011年3月14日~7月末日

銀行:中央労金

支店:西新宿支店(317)

種別:普通

番号:3581389

名義:日本生協連 東北大地震 義援金(ニホンセイキョウレン トウホクダイジシ
ギエンキン)

※全国の労金店舗からの振込み手数料は無料。

《17の会員生協の3月24~28日の集約分までの情報をお知らせします》

※文中の青字は主として被災地支援の活動の部分です

■いわて生協(3月28日時点)

- ・ 28日は、大阪いずみ市民生協・青森県庁生協の支援でせんべい汁などの炊き出しを釜石市(2ヶ所)、大槌町(2ヶ所)・山田町・釜石市・陸前高田市で実施し290人もの方にご利用いただきました。29日には釜石市(3ヶ所)で炊き出し、釜石市・山田町・大船渡市では移動販売を実施します。
- ・ 「被災地に牛丼1万食の炊き出しを」のボランティアを募集し、4月2日・3日・9日・10日に実施します。全国肉牛事業協同組合より食材(牛肉・玉ねぎ・糸こんにゃく・しょうゆなど)の支援をいただきました(東日本大震災岩手県共同対策本部より提案いただき実現しました)。
- ・ 共同購入は3月28日(4月2週号)からの食品カタログの配布を兼ねて、沿岸の被災地の共同購入・個配利用の組合員さんへのお見舞い訪問を行います。
- ・ 灯油は3月22日から、被災地の「定期巡回」登録者に数量限定で配達しておりますが、25日からその他の地域でも配達登録者のみに数量限定で配達しております。
- ・ 朝配達牛乳は当面配達できませんのでお休みします。

■岩手県学校生協(3月28日時点)

- ・ 共同購入は28日より、一部地域を除いてチラシのお届けを再開します。被災地へのお届けは組合員さんの状況に応じて対応します。
- ・ 休止していた灯油配達を、配達量を制限して一部地域で再開しました。

■盛岡医療生協(3月28日時点)

- ・ 第3次救援隊6人が3月25日に出発しました。また、日帰りボランティアを募集し、日帰り救援隊として18名が27日に出発しました。

- ・ 東神戸病院救援隊が20日から大船渡市、陸前高田市の救援活動を行いました。救援内容について懇談した中で、「避難所は動くスペースがない。空気が悪く呼吸器系や目、鼻に症状が出てきている。血圧がみんな高い。避難所の方々から怒りが出始めている。市のスタッフも疲れ果てている。」ことや、「介護レベルが上がって、介護が大変になっている。」ことなどの実態が報告されました。
- ・ 3月28日から大船渡市に医療支援を開始しました。29日までは同生協の川久保病院が対応し、それ以降は全日本民医連に支援を要請し継続していく予定です。

■岩手大学生協(3月28日時点)

- ・ 3月28日～4月9日の営業時間は、中央食堂・工学部食堂・農学部食堂が11時半～13時半、購買中央店・旅行センターは10時～14時です。また、土曜日は中央食堂のみ同時間営業します。日曜・祝日は全店閉店です。購買工学部店・ラボ店は閉店しています。
- ・ 新入生サポートセンターは4月4日～17日の営業となります。

■盛岡大学生協(3月28日時点)

- ・ アパート紹介の営業を10時～15時で行っていますが、土日祝日は事前に予約いただいています(平日もできるだけ予約を)。現役の盛岡大学生が待機してご案内します。
- ・ 学生総合共済や各種保険、学生生活110番の加入について、手続きはできるだけ4月12日(火)までをお願いしています(4月21日の登校開始予定日に組合員証をお渡しできます)。事情により遅れる場合は4月21日までをお願いしています。
- ・ 電子辞書・電子ピアノは予約にて申し込みを受け付けています。パソコンは70台限定で申し込み可能です。

■岩手県立大学生協(3月28日時点)

- ・ アパート紹介の営業を10時～15時で行っていますが、土日祝日は事前に予約いただいています(平日もできるだけ予約を)。現役の岩手県立大学生が待機してご案内します。
- ・ 学生総合共済や各種保険、学生生活110番の加入について、手続きはできるだけ4月5日(火)までをお願いしています(4月18日の登校開始予定日に組合員証をお渡しできます)。事情により遅れる場合でも受け付けます。
- ・ 電子辞書は予約にて申し込みを受け付けています。パソコンは70台限定で申し込み可能です。

■生活クラブ生協(3月22日時点)

- ・ 沿岸部の組合員2名と連絡が取れていません。職員・施設は無事です。
- ・ 提携生産者の重茂漁協では、わかめ養殖施設などが壊滅しました。
- ・ 被災した組合員、生産者への応援の気持ちを込め、カンパ活動に取り組みます。カンパの用途は、被災した各生協(組合員を含む)への支援金、被災した提携生産者へのお見舞金、被災地への緊急支援物資の提供、第1次産業復興支援のための義援金や災害ボランティア・NPO活動のためとします。

■大船渡市役所職員生協・遠野市役所生協・岩手県庁生協・東北農業研究センター生協

- ・ 必要な物資や商品の支援を行っています。(3月28日時点)

■みやこ映画生協(3月28日時点)

- ・ パソコンが壊れたりなどはありましたが、映写機は位置が動いただけで無事でした。
- ・ 職員・理事皆無事ですが、まだ直接会えていないので、新年度の方向性などはこれから決めます。暫定的にスタートする予定ですが、被災された方たちのために何かできたらと考えています。

※下記の生協は、3月28日時点では追加情報はありません。

■消費者信用生協 ■岩手労働者共済生協 ■釜石市職員生協 ■宮古市職員生協

《岩手県生協連の当面の動き》

- ① ユニセフの物資配送の支援とコーディネートをしています。



▲箱の2面に内訳表を貼るメンバー



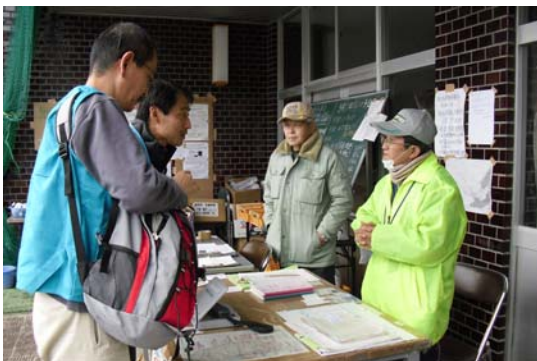
▲手際のよい作業の様子

ユニセフから子ども服(上下)と長袖シャツ2万8千枚、長靴・運動靴(子ども・大人用)8千足の支援をいただきました。3月27日にボランティアが集まり、仕分け作業をしていただきました。ユニセフボランティアから5名、岩手県立大学から5名、他学生や日本生協連などからの合計19名で、物量も多く、重量物もありましたが、手際良く、1時間半で約800箱に仕分けし、内容の記した内訳表を箱の2面に貼り付けました。こちらは岩手県の物資センターに渡しました。

- ② 3月27日ユニセフ本部の岩手県でボランティアされている方々と大槌町避難所を視察

大槌町の避難所のひとつ、安渡小学校を訪問。ここには50人くらいの子どもたちが生活しており、持っていたレクリエーションキット(サッカーボールやバレーボール、バスケットボールなどのセット)は大変喜ばれました。3月24日に発送した肌着も受け付けられていました。

今後も避難所を訪問し、少しでも子どもたちに喜んでもらうよう活動します。



▲安渡小学校の物資の受付所の様子



▲大喜びでボールに空気を入れて貰う子どもたち

- ③ 県連加盟団体への情報提供と、必要な物資や商品の支援を行っています。

- ④ **日本生協連・東北地連に対し、物資や救援要請の窓口はいわて生協とします**

日本生協連への支援要請や要望は、いわて生協を窓口としますので、要請や要望のある生協は、ぜひお知らせください。

＜問い合わせ先＞

岩手県生協連 事務局 電話:019-684-2225